

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 95 (年4回発行)

■発行日 令和2年3月31日
■発行 三春まちづくり協会
■編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)
TEL/FAX (62) 3988

町の課題をみんなで考えましょう！ 『町民と議会との意見交換会』

テーマ 《地域活性化対策》

去る二月十八日、まほら学習室において「三春まちづくり協会と議会との意見交換会」が開催されました。

三春町議会では、毎年町民の皆様から議会や町政に対する意見を伺い、町政に反映させるとともに、町民の福祉向上や地域振興につなげるために意見交換会に取り組んでいます。その一環として今回は三春まちづくり協会との意見交換会が開催されたものです。

【以下、意見交換会次第の内、協会長及び町議会議長のご挨拶と協議の内容を記載いたします。
紙面上の関係上、発言内容等を要約して掲載しますのであらかじめお断りいたします。】



▽相川協会長あいさつ

今回は、議題として「地域活性化対策」について、皆様と一緒に考えながらお話を頂くわけですが、この機会を大いに活用して、さらに密接に三春町のために少しでも役立っていきたいと思っています。

皆さんと一緒に意見を出し、交換し合って、新たな発想、新たな意見を出し合って町の中に反映されると思っておりますのでよろしくお願いたします。

▽佐藤議会議長あいさつ

本日は、意見交換会に参加していただきありがとうございます。議会議員それぞれの地域でいろんな声を聴いて議会で発言し、多くの方々とい

ろんな団体と意見交換会をしております。

今日は、参加している議員が自由に発言できる機会にしてあります。町民の意識向上と地域の振興を図る機会にできるよう意見交換会に臨みたいと思います。

【議会事務局より第七次計画基本目標の説明がありました】

令和元年度の主な事業を紹介いたします。(抜粋)



※重点施策1
誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり(安全・安心分野)

○交通安全施設整備事業
233万円
危険箇所を調査し、カー

プミラーの購入、区画線設置等の工事を行います。

○防犯等設置及び維持管理事業
979万円

LED防犯灯の新設、維持工事等を実施します。

○可燃性廃棄物搬出準備業務
6億7,650万円

葛尾村仮焼却所へ円滑な搬出をするため、仮置き場内の除染廃棄物を可燃物と不燃物に分けて詰め替えを行います。

※重点施策2
住みよい美しい環境で暮らせるまちづくり(生活基盤環境分野)

○空き家改修等及び除去事業補助
950万円

町内の建設業者を利用して空き家の改修等及び除去を行う方に対して補助します。

○城山公園、担橋公園遊具撤去
108万円

城山公園や担橋などに設置してある老朽化した遊具を撤去します。

※重点施策3

子育て支援医療費助成事業
7,269万円

子育てにかかる負担の軽減と子供の健康の保持増進を図るため、高校三年生までの医療費無料とします。

※重点施策4
誰もが健やかに暮らせるまちづくり(健康・医療・福祉分野)

○ニコニコ元気塾事業
1,862万円

各地区集会施設等で、通所型介護予防事業を実施します。

※重点施策5

産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり(産業振興分野)

○街なか賑わい創出事業
155万円

空き家店舗を活用した小売店舗等の改修費や家賃等を助成します。

○観光振興事業業務
1,801万円

観光PRや三春盆踊り大会、紅葉ライトアップ等年間を通して観光振興業務を行います。

※重点施策6

協働と町民参画による自立したまちづくり(協働・行政経営分野)

○まちづくり協会運営交付金
821万円

各地区まちづくり協会の活動を支援するため、交付金を交付します。以上です。

【議員さんと意見交換会】

一人ずつ自己紹介かねて一言お願いいたします。

●三春町の活性化について農業に強いところ、学校関係に強いところなど強くしていきたい。

●もう一度スポーツの強いまちづくり、「健康長寿、日本一、三春町」を目指します。

●人口減少に伴う財政の厳しさがあり、今やらないと間に合わない。六、七年後にできていけば成功かなと思います。

●郡山市に隣接している三春町は郡山市のベッドタウンでもよいのではないかと。若い人をどう取り組むかが必要です。

●少子高齢化、人口減少化の中で、農業の跡継ぎもいない中、若い人に住んでもらうには農地転用して宅地にして、若い人に住んでもらう子供も生まれ人口も増えるのではないかと。

●これからは気候変動が大変です。農業を頑張っていきたい。

●三春町の観光資源はたくさんあります。滝桜の子孫木もたくさんあります。企画、製作ができましたので、まちづくり公社に丸投げでなく工夫をしていきたいです。



【質問会】

◎町民 田村広域行政組合の現在の進行状況？

【議員】 今は、変わりはないところですが、残念なことですが町民の皆さんの支障の無い様に、町と一緒に検討してまいりたいと考えております。

◎町民 火葬場について？

【議員】 今は、郡山市、田村市にあります。郡山市も団塊の世代でいっぱいになると予想され、三春でもできないかと話されています。町との話もしているところでは。

◎町民

三春町の観光PR不足しているのではないかと三春町の魅力何か？

【議員】 今は、ネット配信されていますが、さらに専門性の高い人材を持って配信すればと思っています。

【議員】 農業をやりたい方がいますか？以前は10坪農園が大好評だったのですが、いつの間にかなくなってしまうが。

◎町民

10坪農園が復活すればやりたいと思う人はいると思います。健康的でありがたいです。

※司会

三春町は郡山市のベッドタウンでもよいのではないかと話がありました。三春町に住んで郡山で働いて買い物も郡山でして、三春は住むだけの町になりますね。人口は増えるかもしれませんが、今日のテーマの活性化にはならないのではないのでしょうか。

三春町はそういう町でいいのですか？皆さんはどう思われますか。

◎町民

若い人に住んでもらう事はいいことだと思います。ありがとうございます。

部会だより

街並部会

正面には「田部井順子生誕地」側面には「世界初の女性エベレスト登頂者この地に生まれる、一九三九〜二〇一六」と彫られた生誕碑が、中町二十二番地の生誕地跡に立ちました。

田部井さんの本には、「私の家は印刷屋である。七人兄弟の末っ子で二人の兄、四人の姉と女系家族の最後にまた女の子というわけでは何日も私の名前を付けようとしなかったとか。家の前には桜川という川が流れ、その桜川にかけられた橋を渡って坂を登ると、「不動山への登り口がある」と書かれてある。



印刷屋さんの五女として生れた石橋淳子さんは、家の前の不動山で、ターザンごっこや、ハンモックをぶつて遊んだそうです。

三春小四年生の時、担任の渡辺俊太郎先生が引率して何人かの友達と那須の茶臼岳と朝日岳に登り、これが最初の山登りになった。

中学、高校時代には年の離れたお兄さんが安達太良山、磐梯山、吾妻山などに連れて行ってくれたそうです。やがて大学時代から本格的に登山を始め、社会人の山岳会では谷川岳、穂高岳などの岩壁を次々と征服。そして山仲間の田部井政伸さんと結婚。一九七五年エベレスト日本女子隊副隊長兼登攀隊長として、世界最高峰エベレスト登頂を成し遂げ、その後七大陸の最高

峰征服も成功させた。

街並部会は、今まで「町名石柱」を町内に三十五基作ってきました。「道場町・燕清水・桜谷・鳥帽子石・丈六・三分坂」などなど。町名石柱を見て、こんな町名があったのだと町民や三春を訪れる人に役立っているようです。

ただその一方で、三春町内を散策に訪れる人、案内する人達からは「自由民権家の河野広中の生まれた所

はどこにありますか？芥川賞作家の玄侑宗久さんのお寺はどう行けばいいですか？登山家の田部井淳子さんの生れた家はどこですか？」と尋ねられることが度々あると聞いております。そこで街並部会では出来るものから作ることにし、まず始めに田部井淳子生誕地の碑が出来た訳です。四年前借しくも亡くなられましたが、その名は末永く記憶されることでしょう。

主な登山歴

- 1970年 アンナプルナⅢ峰登頂。
- 1975年 エベレスト登頂（女性世界初）。
- 1979年 モンブラン登頂。
- 1981年 キリマンジャロ登頂、シシャパンマ登頂（女性世界初、日本人初）。
- 1985年 イスモイル・ソモニ峰、スィーナー峰（旧：レーニン峰（英語版））、コルジェネフスカヤの3峰を1シーズンで完登。
- 1987年 アコンカグア登頂。
- 1988年 マッキンリー山登頂。シヴァ峰登頂（初登頂）
- 1991年 ビンソンマシフ登頂、コジオスコ登頂。
- 1992年 カルステンツ・ピラミッド（ジャヤ山）登頂、エルブルス登頂。
- 1994年 ハン・テングリ登頂。
- 1996年 チョ・オユー登頂。
- 1999年 ポバード山登頂。
- 2001年 ムスターグ・アタ登頂。

編集後記

このところ暖かい日が続いていたので、町の中を久しぶりに歩いてみた。以前には何があったのか、どんな建物が建っていたのか、忘れてしまいうらい歩いていないようだ。▼間口が狭く奥に細長い、全国的に見受けられる光景で、京都に代表される「うなぎのねどこ」のようだ。でも、更地になった寂しい状況ばかりではなく、おしゃれなカフェなど雑貨屋さんや新しい店や人々が集まれるようなお店が増えてきた事がうれしい。▼町の目標でもある誰もが安心安全に暮らせて、住み良い美しい環境で暮らせて、豊かな心と文化を育み、誰もが健やかに暮らせて、産業が育ち、魅力と活力にあふれ、協働と町民参画による自立したまちづくりになるように、豊かな自然、歴史、文化に育まれ未来に輝く元気なまち三春▼いつまでも住みよい自慢しあえるまちづくりを目指し、人と人との出会いを大切にして、人口減少にはどめがかけられるように期待したい。（渡邊和江）

コミュニティだより 「三春わが街」第九十五号 発行日 令和二年三月三十一日 発行 三春まちづくり協会 編集 三春まちづくり協会 広報部 会 三春町大字山手塚一〇〇二（六二）三九八八